

<執筆細目>

1. 投稿・提出方法

ホームページより「投稿エントリーカード」をダウンロードし、必要事項を記入の上、編集委員に電子メールで送付して投稿のエントリーを行って下さい（締切：3月31日）。その後、原稿の Word ファイル、原稿の PDF ファイル、図版ファイル、「投稿カード」（エントリー後に編集委員が送付）を、電子メールで編集委員に提出して下さい（締切：5月20日）。提出原稿のフォームは、編集委員会の指示に従って下さい。

2. 枚 数

投稿する原稿の枚数（B5 サイズで 44 字 x38 行）には原則として下記の制限を設けます。いずれも本文、図・表、謝辞、註、参考文献リストなどを含めた枚数です。

論 文：20 枚以内 + 欧文要旨

調査研究速報：5～10 枚程度

書評・コメント：2～4 枚

3. 構 成

論 文：題名、日本語要旨、キーワード、目次、本文、謝辞、註、参考文献リスト、欧文要旨。

調査研究速報：題名、本文、謝辞、註、参考文献リスト。

書 評：書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁、定価、本文。
これに可能な限り著者の返答を載せます。

4. 日本語要旨

400 字（論文のみ）。

5. 欧文要旨

700 語（論文のみ）。

6. 欧文タイトル

論文、調査研究速報、書評のカテゴリーにかかわらず付して下さい。

7. キーワード

日欧それぞれ 5 語程度付して下さい（論文のみ）。

8. 章立て

章の見出しには、全角算用数字による番号と全角ピリオドを付して下さい。節や項を設ける

場合には、下記の例に従い、半角で番号を付して下さい。

- 例) 章 1. はじめに 節 2-1. 調査の経緯
項 3-1. □1) 土器 (□は半角スペース、全角片括弧)

9. 本文・註における文献の引用

[著者の姓□刊行年：ページ数]。(□は半角スペース、[]は全角の大括弧)

例)である [石田 1967:25-30]。 泉 [1967:33] によれば、.....

10. 註

本文中に、^(註1)、^(註2)と通し番号を付し、参照文献リストの直前に後註としてまとめて下さい。

11. 人名・地名などの表記

1) 人名は、初出では「カナ・フルネーム (原綴)」とし、2回目以降は基本的に姓のカナ表記で示して下さい。

例) リチャード・バーガー (Richard Burger)、バーガー

2) 一般的によく知られているものを除き、地名や遺跡名についても、初出では「カナ表記 (原綴)」で示して下さい。

例) エク・バラム (Ek Balam)

12. 現地語による呼称の表記

イタリック体で表記して下さい。

例) エル・コメルシオ (*El Comercio*) 紙によれば、.....

13. 図、表

著者が作成し、図 (写真) ・表のファイルをそのまま提出して下さい。写真は、jpeg、tiff、gif、png 等のファイル形式で、トリミング済みのグレースケール (モノクローム) とします。これとは別に、査読用・確認用として、図 (写真) ・表をキャプションと共に本文中にレイアウトした版下も提出して下さい。原則として、キャプションは、「図1□○○」、「写真1□○○」、「表1□○○」(数字は半角、□は全角スペース) のいずれかとし、表には上、図には下に置いてください。

14. 参照文献リスト

参照文献リストとして、論文末に一括して示して下さい。

1) 欧文文献・邦文文献ともに、著者の姓名のアルファベット順に配列して下さい。ただし、欧文・邦文ともに大量となる場合は、別々にアルファベット順にまとめて下さい。

2) 単著本の場合

著者姓名（改行）、書名、出版社、出版地。書名はイタリック体で示して下さい。

例) Hyslop, John

□1984□*The Inka Road System*. □ Academic Press, □ Orland.

(以下、□は全角スペース、◇は半角スペース)

3) 雑誌の場合

著者姓名（改行）、年号、論文名、雑誌名、巻、号、ページ数。

例) Sabloff, Jeremy A.

□1985□*American Antiquity's First Fifty Years: An Introductory Comment*. □ *American Antiquity* □ 50(2): 228-237.

4) 論文集の場合

著者姓名（改行）、論文名、所収書名、編者名、ページ数、出版社、出版地。

例) Hammond, Norman

□1991□*Inside the Black Box: Defining Maya Polity*. □ In *Classic Maya Political History: Hieroglyphic and Archaeological Evidence*, □ edited by T. P. Culbert, □ pp. 253-284, □ Cambridge University Press, □ Cambridge.

5) 邦文文献の場合

上記の洋書になりますが、出版地は省略してかまいません。単行本ならば書名を『』で囲み、雑誌の場合は、論文名を「」で、誌名を『』でそれぞれ囲んで下さい。

例) 大井邦明

□1985□『消された歴史を掘る：メキシコ古代史の再構成』 □平凡社。

泉靖一

□1967□「ラテン・アメリカの文化財保護をめぐって」 □『月刊文化財』 □43:32-35。

大林太良

□1963□「古代インカにおける内蔵占いの起源」 □『民族学ノート：岡正雄教授還暦記念論文集』（岡正雄教授還暦記念論文集編集委員会編） □pp.231-236、平凡社。

6) 邦訳が出版されている場合

例) Reichel-Dolmatoff, Gerardo

□1973[1971]□*Amazonian Cosmos: The Sexual and Religious Symbolism of the Tukano Indians*, □ University of Chicago Press, □ Chicago. (『デサナ：アマゾンの性と宗教のシンボリズム』、寺田和夫・友枝啓泰訳、岩波書店)

7) 著者が複数の場合

二人目からは名-姓の順にしてください。

例) Fash, William L. and Robert J. Sharer

例) Sharer, Robert J., Julia C. Miller, and Loa P. Traxler

8) 英語以外の文献の場合

論文名では、冒頭の語と固有名詞以外は、小文字で表記。書名、誌名は英語の場合にならなって下さい。

例) Nuñez, Lautaro

□ 1976 □ Registro regional de fechas radiocarbónicas del norte de Chile. □ *Estudios Atacameños* □ 4: 74-123.

1 5. 図版・写真の使用についてと記述内容の責任について

本人の責任において所有者に対して許可を得てください。この点に関してトラブルが生じた場合、一切の責任は著者にあるものとします。また記述内容をめぐるトラブルが生じた場合も、一切の責任は著者にあるものとします。

1 6. 調査研究手法や方法論の明記について

自然科学的な手法で獲得されたデータを用いた記述に際しては、第三者による検証や確認が可能となるように調査研究手法や方法論を明記してください。

(2020年10月改訂)